



## 株式会社マエコーエントラプライズ様から 寄附金をいただきました

株式会社マエコーエントラプライズ（大阪府高槻市）の前田幸治代表取締役会長から「コロナ対策に役立ててほしい」と、伯耆町に1,000万円の寄附金をいただきました。

株式会社マエコーエントラプライズは、クラシック三冠馬コントレイルなど数々の名馬を輩出している競走馬調教施設「大山ヒルズ」（伯耆町真野）の運営会社です。

伯耆町役場応接室で4月16日（金）、寄附金の贈呈式が行われ、大山ヒルズ取締役ゼネラルマネージャーの齋藤慎さんから森安保町長に目録が手渡されました。

今回の寄附を受け、森安町長は「（株）マエコーエントラプライズ様にはこれまでにも複数回の寄附をいただいています。今回の寄附はコロナ対策に活用させていただきます。コロナ禍でも、世の中に元気を与える事業をこれからも続けていただきたいと思います」とお礼を述べました。



寄附金目録を手渡す大山ヒルズ取締役ゼネラルマネージャーの齋藤慎さん（写真左）

## 復興願い、10年目の「東北支援米」

〜八郷小児童 6月田植えに向け種まき〜

八郷小学校では、東日本大震災（2011年）の被災地・被災者支援のために、「東北支援米」作りに取り組んでいます。東北を支援する会・谷口輝雄会長や学校支援ボランティアとともに、児童たちが田植えや稲刈りを行い、毎年11〜12月に福島県の小学校や老人施設へ米を送っています。この活動を始め、今年で10年目になりました。

6月の田植えに向け、3・4年生の児童18人が4月27日（火）、コメ作りの最初の作業「種まき」を行いました。

児童らは、谷口会長やボランティアの人から種のまき方、種をまいた後の土のかけ方などを教わった後、土の入った育苗箱を受け取り、「これで合っていますか？」「どれぐらいで芽が出ますか？」など質問しながら、箱全体に均一になるよう種をまき広げ、その上からやさしく土をかぶせ、最後にジョーロでたっぷり水をやりました。

約1時間で20枚の育苗箱ができ、そのうち2枚を小学校に置き、児童らが成長具合を観察することです。

今後は6月に田植えを行い、10月に収穫、12月に東北へ発送を行う予定です。



種がむらなく広がるように熱心に作業に取り組む児童たち

## 新型コロナウイルスワクチン集団接種開始

65歳以上の高齢者を対象にした新型コロナウイルスワクチンの集団接種が5月8日（土）、伯耆町農村環境改善センターで始まりました。

この日は、事前に予約したおよそ120人が、15分ごとに10人ずつ接種をしました。接種希望者は受付で検温・消毒を行い、保健師による問診を受けた後、医師からワクチン注射を受けました。接種後は会場内で20分待機し、気分が悪くなることがないかなど様子を見ていました。この日、体調不良を訴える人はありませんでした。

現在使用しているワクチンは、3週間の間隔を空けて2回接種が必要で、7月末には町内の65歳以上の高齢者でワクチン接種を希望される方の2回接種が終わる見込みです。

健康対策課の景山祐子課長は「順調にワクチン接種を行うことができました。より安心して、できるだけ早くワクチン接種を受けていただけるよう、体制をさらに整備していきます。ワクチンや接種日程は十分確保していますので、安心して接種を受けていただきたいと思います」と話しました。



③接種



①受付



④接種後は20分間待機して体調観察



②問診

## 伯耆町議会議員選挙当選証書附与式

4月18日（日）に執行された伯耆町議会議員選挙の当選証書附与式が翌19日（月）、伯耆町役場で行われました。

当選された14人に、金田政雄選挙管理委員会委員長から当選証書が手渡されました。任期は、令和3年5月1日から令和7年4月30日までの3年間です。

### 伯耆町議会議員（議席番号順、敬称略）

- 大床 桂介（おおどこ けいすけ）
- 上田 博文（うへだ ひろふみ）
- 片岡 千明（かたおか ちあき）
- 長谷川 満（はせがわ みつる）
- 杉本 大介（すぎもと だいすけ）
- 乾 裕（いぬい ゆたか）
- 永井 欣也（ながい きんや）
- 杉原 良仁（すぎはら よしひと）
- 一橋 信介（いちはし しんすけ）
- 渡部 勇（わたなべ いさむ）
- 細田 栄（ほそだ さかえ）
- 幅田千富美（はばた ちふみ）
- 大森 英一（おおもり えいいち） **「副議長」**
- 勝部 俊徳（かつべ としのり） **「議長」**



当選証書を手渡す金田政雄選挙管理委員会委員長（写真右）